

心・安全に
続けられ
みユニ
生カ

知ら咲か



2020 AUGUST No.87

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 URL <http://www.shirasaka8.net/>
連絡先 「知ら咲か」ホームページの“問い合わせ”をご利用下さい。



夏休み子どもと 皆のラジオ体操

大人の皆さんも一緒に!!
楽しく「ラジオ体操」しませんか??
朝から元気に体を動かして健康的な
夏を過ごしましょう!!

場所 ゆずり葉緑地 ラジオ体操は1年中やってまーす!
期間 令和2年 8月1日(土)~7日(金)
6時30分~40分まで

お家の方と一緒にの参加もOKです!!

未就学のお子様のご参加の場合は、保護者の方もお付添いください。

「ラジオ体操カード」をお渡ししますので、
出席ごとにシールを貼りましょう!

皆勤賞や参加賞のプレゼントもあるよ!

※タオル・水筒などは各自ご持参いただき、熱中症にご注意ください。
※宝塚西高校前バスロータリー周辺など十分お気を付けてください。

主催：ゆずり葉緑地 元気

協賛：「知ら咲か」「阪急逆瀬台アヴェルテ自治会」
「ふれあいサロン アヴェルテ」
「ゆずり葉コミュニティ」

夏休み子どもと皆のラジオ体操

8月1日~7日の一週間、2密に注意し元気に!

■2密に注意して

新型コロナウイルス感染症の基本的注意事項で「3密を避ける」があります。すなわち「密閉」「密集」「密接」の「三つの密」を避けることが基本です。ラジオ体操会は、戸外の広い空間での活動で「密閉」ではありません。残りの「密集」「密接」の二つの「密」が注意すべきこととなります。

■密集に注意

ここ数年でラジオ体操参加者数が増えてきました。総人数ではかなりの「集団」になります。この人数が塊になれば「密集」となります。しかし、体操会場は十分に広く、一人ずつは分散しています。芝生の広場以外でもモニメントまわりも使います。「密集」の心配はありません。

■密接にも注意

体操時には両手を広げて他の人に触れることのない距離を保ち心配はありません。

■往復時、前後の時間注意

気がかりは会場への往復、集合チェック時、体操前後の時間における会話の時間が盲点となります。その時にはマスクの着用や距離を保つなどお互いに気をつけ安全を確保しましょう。新型コロナウイルス感染症への基本的遵守事項を守りましょう。



逆瀬川マンションの願いを込めた短冊



下は逆瀬台マンション(左) 逆瀬川マンション(右)の七夕飾り



七夕飾りに願いを込め
各マンションで3蜜を避けて

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「緊急事態宣言」発出後、当地域でも様々な会合の自粛が続きました。宣言解除後は、おそろのおそろの開催が多いようです。こんな中ですが、各マンションではコロナへの思いも含めた願い事を記した七夕短冊の飾り付けが行われました。皆さんもコロナの収束を

心待ちにしていることが短冊にもうかがえます。

■七夕の豆知識

七夕とは有名な伝説ですね。これは中国からの由来が起源とされています。おりひめは縫製の仕事、ひこぼしは、農業を司る星とされています。この二つの星は一年に一

度、七月七日の天の川を挟んで最も光り輝くことからこの日を巡り合いの日として七夕のロマンチックなお話しが作られました。これも中国の伝説です。七月七日の織女星にあやかり、機織りや縫製が上達するようにお祈りする風習が生まれ、やがて縫製だけではなく、芸事や書道、そして現在では様々な願い事をする風習が広がったのです。最初は、おりひめにあやかっ

するようになったのです。このように複数の神事や伝説、風習が重なり現在の「七夕」が生まれたとされています。

また、笹に願い事を書いた短冊を下げて飾る七夕飾りは、江戸時代に寺小屋で学んでいた寺子たちが、習字が上達するようにと「短冊」に書

パークマンション
七夕飾り

昨年までは「午後のふれあいサロンひまわり」さん主催の行事でしたが、今年からは自治会行事として引継ぎ実施しました。竹笹は例年通り近所の方から分けていただきマンション玄關脇に飾付けました。



かれたのが始まりとされています。笹(竹)は神聖なものととして、大切に扱われていました。また、笹(竹)は、根強く、繁殖力も強く、風雪にも強く、その生命力と神秘性を兼ね備えた笹(竹)は昔から神事などにも使われるほどでした。逆瀬川マンション O 記

用意した笹には住民の皆さんの願いを込めた沢山の短冊が取り付けられました。

■逆瀬台住宅
おしゃべりさろん
七夕飾りをしました
7月3日(金)

世間ではコロナウイルスのため、3密を避ける生活が続いています。行きたい場所にも行けず、会いたい人にも会えない日々・・・そんな今だからこそ、みんなので星に願いをかけました








アヴェルテの七夕の祈り

今年は九州の大雨水害、新型コロナウイルス感染症再拡大の兆しの中で、予防対策をしながら「ふれあいサロン」と「自治会」の共同で実施した七夕でした。3日の夕方にはサロンの世話役さんが短冊やお飾りの用意。子ども達へのプレゼントも購入。文房具も消

毒、使用済み筆記具との分別も明記。消毒液をたっぶり手指に刷り込むこと、マスクを着用すること。4日から7日までの午後4時から6時、管理棟玄関で子ども達や大人の方々に笹飾りや短冊を作りました。4日の延べ参加者は約50名。今年は3密を避け、歌やゲームはなく、小さいお子さ

まを連れ短冊を書きに来てくださったお母さんお父さん。ずいぶん大きくなった高学年の子ども達。微笑ましい出会いがありました。短冊には皆さまのいろいろな願いが込められました。七夕の短冊は「聖天さん」にお願いし「お炊き上げ」をしてもらいました。(Nさんの原文を編集部で短縮記載しました。)








アドプト『花壇づくり』 パークマンション



パークマンションでは宝塚市との「公園アドプト制度」と並行して「花壇づくり」に取り組んで三年目になります。コロナウイルスの感染予防のために集団活動は自粛となり三月から中断しました。

六月からは自粛が解かれ活動再開となりました。

七月に入り宝塚市から花苗の配布通知もあり作業のため招集通知が入りました。

今回は作業終了後集会所で茶話会が行われました。



活動が始まってから初めてのことで、会員も十一人から十六人に増加しました。

お茶とお菓子を食しながら自己紹介と懇談で親睦を深めました。

周囲の人からは公園が綺麗になったね！

花壇の土を入れ替えたいね！

水はけがよくないね！

等々話題、要望が上がりが有意義なひとときでした。



【編集後記】

今号も「知ら咲か」は通常より少ない4ページ仕立てです。緊急事態宣言解除後、公共施設の再開がされましたが、集会所スペースなどは「定員の2分の1もしくは50名の少ない人数で」といった使用制限がかけられている所が多いようです。

当地区のマンション集会所の使用条件も、ほぼ公共施設の条件に準じている所が多いようです。皆さん、「準自粛状態」の状態でしょう。

この編集後記を書いている時にも「東京の新規感染者280名以上？」というニュースが流れてきます。とにかく、社会活動を元の状態に戻したい願望も強く起こってきますが、感染しないことを念頭に置いた日々の活動をするしかないでしょう。

新型コロナウイルス感染症への心配りと同時に「熱中症」のリスクを避ける活動も必要になってきます。

自粛生活で運動不足や偏った食生活で体力が衰えているところに「熱中症の危険」です。しっかりと睡眠をとり水分や塩分の補給もしましょう。

とにかく「健康第一」で秋に向かいましょう。

(S)